



Corsight 顔認識システム機能のご紹介

2021-3-11



IST株式会社

〒103-0023東京都中央区日本橋本町三丁目
3番地6号ワカ末ビル7F

お問合せ:<https://ist-security.com/contact/>

URL: <https://ist-security.com>

Corsight Forityの顔認識機能の特徴ご紹介

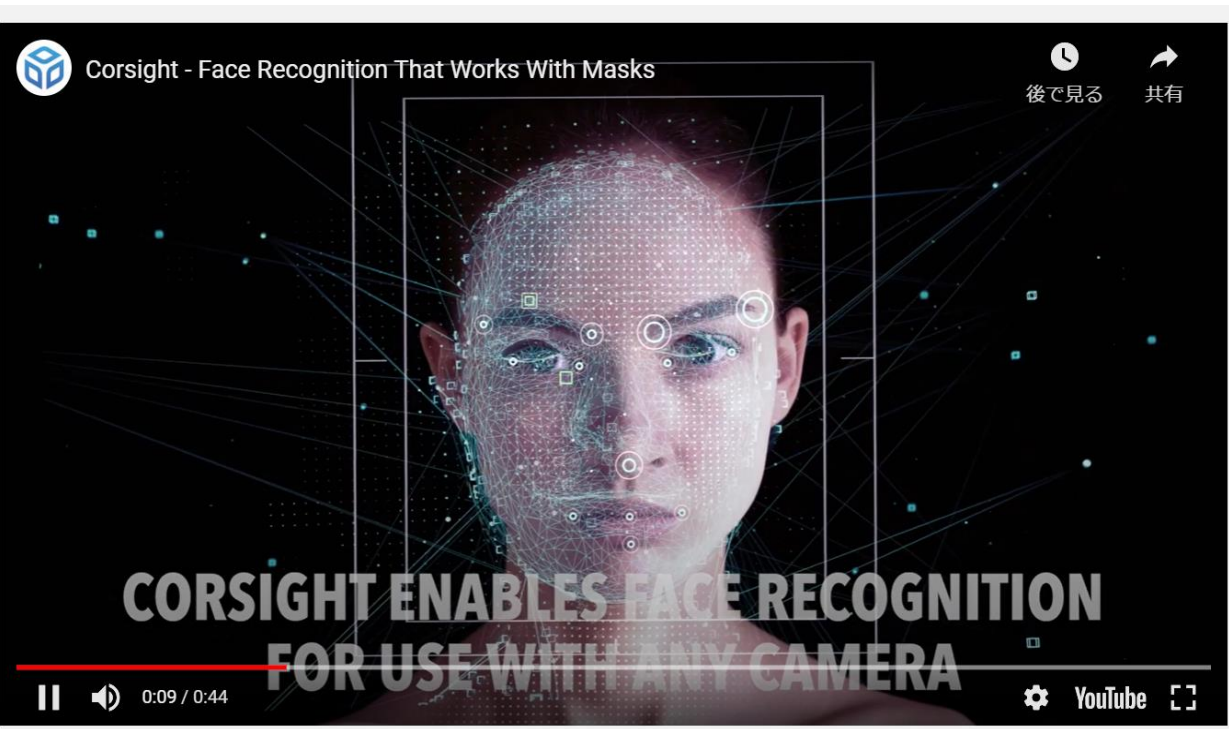


- Search機能

Search Method:

- 1) View history – Timeframe-All timeのAppearance counterで一日の全来店者の人数がカウントされます。又各階の一日の来店者数のカウントも可能です。この機能はデパート・ショッピングモール・大手小売店等では非常に有益な機能です。
- 2) Search image -全ての来店者の顔認識が可能。又この機能で迷子の子供・老人等の顔写真で即座に全ての監視カメラによって位置情報が可能。
- 3) Proximity機能により特定の人物の顔写真でその人物と接触した人物の特定も可能です。この機能の使用例としては社内のある人間がコロナウイルスに感染した場合、その人物に接触した可能性のある人間を時系列的に特定ができ、又そのレポートをPDFにて作成が可能です。又犯罪者を路上で確認した場合その人物に接触した可能性の人間の特定が可能となります。
- 4) 性別及び年齢(全ての人種の推測)機能も5月より提供致します。

右をクリック : <https://youtu.be/JOZXOiHMFLw>



Corsight



- CorsightはCorticaのグループ会社でそのAutonomous AIを用いて最先端の顔認識/顔認証システムを構築しています。その技術は正面画像だけではなく、いろいろな角度からの画像やマスクやサングラスをかけた画像も認識し2020年NISTで1位となりました。
- さらにその対象となる人物の30年ほど前まで遡った写真も認識することが可能です。
- また画像データをそのまま使用せず、プライバシーを保護するSignature Fileを用いてGDPRに準拠する次世代のシステムとなっています。

顔認識システムの現状



- 近年、顔認識システムはバイオメトリック認証の一つとして急速な発展を遂げています。
- しかし、アメリカでは顔認識/顔認証システムのプライバシーの問題、AIの認識率の低さ、及び性別・皮膚の色による認識率の違いにより差別問題へ発展し、IBMの撤退、Amazonも一時停止、Microsoftの警察への販売停止となりました。
- また、EUではプライバシー等の人権意識が強く、GDPR（General Data Protection Regulation）が施行されました。特に収集されたデータベースの保護は重要課題です。

Corsightの特徴 (1)



1. Cortica(Corsightの親会社)のAutonomous AI(Signature FileとSignature Database)を用いGDPRに準拠する堅牢なシステムとなっています。
 - Autonomous AIは250以上のパテントで保護されています。
 - 画像データではないので非常にコンパクトなDatabaseとなり、プライバシー侵害を回避できます。また、超高速検索を可能とします。
2. 2020年10月に米国国立標準技術研究所(NIST)主催の顔認証ベンチマーク(ワイルドテスト部門)でNo.1の評価を得ました。
 - ◆NISTでは2つのテストがあります。
 - 1:正面画像のみでのテスト
 - 2:斜めからの画像、マスクをかいた画像、陰に隠れた画像等を含むワイルドテスト
 - Corsightはワイルドテスト
 - NECは正面画像テストのみ
3. GenderやEthnicで性能が左右するような差別問題をクリアーしています。

Corsightの特徴 (2)



4. 既に設置されている監視カメラを利用してスマート監視システムができます。
Corsightの顔認証システムはソフトウェア・専用サーバ・クラウドコンピューティングを構築するだけで、カメラフリーなのでユーザーの資産を活用できます。(スマホもOK)
5. 現在のビデオデータをシグネチャデータベース化、インベスティゲート (optionソフトウェアを使用することで超高速検索が実現できます。(数時間→数秒))
6. Ethnicの顔認識・暗闇での顔認識ができるのも大きな強みです。(他企業では出来ていない)
7. オンラインビジネスの拡大が図れます。
Corsightの顔認証システムを利用して、本人確認・なりすまし防止・不正防止などの監視をリアルタイムで実現できます。
(様々なオンライン国家試験・トレーニングなど、オリンピックなどの各種イベントのセキュリティなど、リアルタイムオンライン需要のビジネス拡大が望めます。)

Corsightのバックグラウンド



Corsightは、独自のAutonomousAI®を搭載したパラダイムを変える製品を開発した実績を持つ情熱的なエンジニアと起業家のグループによって設立されました。

Corsightの使命は、個人のプライバシー保護の最高水準を維持しながら、顔認識技術の世界を根本的に強化することです。

Corsightは、米国に本社を置き、英国にヨーロッパのオフィスを持ち、イスラエルにR&Dセンターを置いています。

参考資料



- ▶ Corsight AI Facial Recognition (NISTのWildテスト部門でNo.1となる)

<https://www.securityinfowatch.com/access-identity/biometrics/facial-recognition-solutions/product/21163283/corsight-corsight-ai-facial-recognition>

- ▶ Israel's Cortica teams with Toyota, BMW in autonomous AI car tech

<https://jp.reuters.com/article/us-autonomous-cortica/israels-cortica-teams-with-toyota-bmw-in-autonomous-ai-car-tech-idUSKCN1Y02SO>

- ▶ IBM、Amazon、Microsoftが相次ぎ見合わせ、AIによる顔認識の何が問題なのか？ yahoo Japan news

<https://news.yahoo.co.jp/byline/kazuhirotaira/20200611-00182770/>

<https://jp.techcrunch.com/2020/01/25/2020-01-24-londons-met-police-switches-on-live-facial-recognition-flying-in-face-of-human-rights-concerns/>

- ▶ 顔認証技術とプライバシー保護は両立できるか？ -GDPRが与える示唆

[顔認証技術とプライバシー保護は両立できるか？ -GDPRが与える示唆 \(1/2\) : EnterpriseZine \(エンタープライズジン\)](#)